

医師確保計画の見直しについて

1 医師確保計画の記載事項（国ガイドライン）

- 医師偏在指標を踏まえて設定する医師少数区域、医師多数区域等
- 地域毎の医師確保に係る方針
- 確保すべき医師数を達成する施策
 - ・キャリア形成プログラムの適用を受ける医師の派遣調整
 - ・医師の働き方改革を踏まえた医師確保対策と連携した勤務環境改善支援及び子育て医師等支援
 - ・重点医師偏在対策支援区域の医療機関を対象とした経済的インセンティブに係る事業【新規】
 - ・その他、医師確保や医師偏在対策に必要な施策

2 現在の取組状況等

- 医師偏在指標を踏まえて設定する医師少数区域、医師多数区域等
 - ・医師少数区域等を次のとおり設定

医師多数区域	京都・乙訓
医師少数区域	丹後、南丹、山城南
医師少数スポット	中丹
その他	山城北

- 地域毎の医師確保に係る方針
 - ・医療の提供量・必要量・アクセスに係る要素を補正した京都式医師偏在指標を算出し、各施策に反映
- 確保すべき医師数を達成する施策
 - [オール京都体制による総合的な医師確保対策の推進]
 - ・京都府地域医療支援センターを中心とした関係機関の連携による医師のキャリア形成支援
 - ・臨床研修ガイドブックの作成、就職説明会への参加等、若手医師確保に資する広報活動 など
 - [医師の地域偏在の解消に向けた対策]
 - ・キャリア形成プログラムの適用を受ける医師の医師確保困難地域への派遣
 - ・医師確保困難地域で勤務する意思を有する若手医師に対する地域医療確保奨学金の貸与 など
 - [医師の診療科偏在の解消に向けた対策の充実]
 - ・地域医療確保奨学金における特定診療科加算制度の運用
 - ・分娩手当や産婦人科専攻医に対する研修手当の支援 など

[医師の働き方改革を踏まえた対策の充実]

- ・ 関係団体と連携した医師が働きやすい環境整備の支援促進
- ・ 京都府地域医療支援センターと京都府医療勤務環境改善支援センターの連携による労務管理アドバイザーの病院訪問の実施 など

3 課題

○医師偏在対策が依然として大きな課題となっている中で、今後に向けて次の点に留意する必要がある

- ・ 医学部医学科や研修医定員の減や専攻医採用に係るシーリングにより、若手医師の確保が年々困難になってきている
- ・ 医療施設従事医師の平均年齢は全国平均並みながら、診療所医師の平均年齢は全国平均を上回っている
- ・ 高齢者人口は、南丹以北の医療圏では減少傾向、京都・乙訓以南の医療圏では増加傾向で推移していくことが見込まれる
- ・ 入院医療需要は概ね増加傾向、外来医療需要は概ね減少傾向で推移していくことが見込まれる

4 医師確保計画見直しの論点

○今後も若手医師の確保が難しい状況が続くことが見込まれる中で、医療需要の推移を踏まえ、医師の地域偏在・診療科偏在をどのように是正していくのか